



『サポートJOYO』



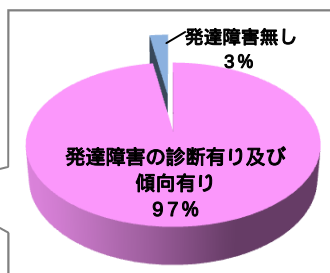
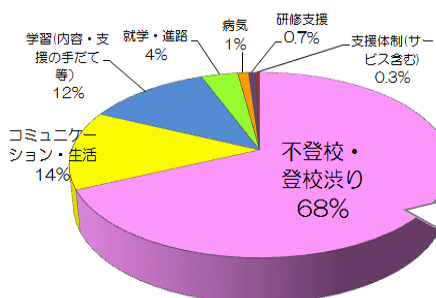
京都府立城陽支援学校 地域支援センター だより 第4号(平成25年度活動報告)

平成25年度の実施状況と相談傾向 (1月末集計)

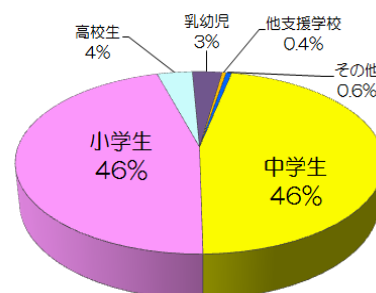
新規相談件数 185件、延べ相談件数 711件

昨年度の1月末集計と比較すると、新規相談件数 122件 → 185件、延べ相談件数 566件 → 711件 に相談件数が増加しています。

延べ相談の内容



延べ相談者の内訳



平成25年度 相談活動の特徴

- 「不登校・登校しぶり」の相談割合が多い(今年度も増加傾向)
 - 発達障害の診断あり、あるいは発達障害の傾向がある方の相談が9割以上
- 中学生相談の急増
- 高校進学へ向けての進路相談や不登校ケースの相談が多い
- 巡回相談の増加
- 特別支援学級からも読み書きスクリーニング検査等の依頼、教材紹介読み書きスクリーニング検査・視機能検査依頼の増加
- 不登校ケースに読み書きの苦手さをあわせもつケースも多い
- 地域の通級指導教室・適応指導教室と連携
- 読み書きスクリーニング検査・視機能検査・K-ABC などの実施協力等NPO法人など地域資源の活用

本校 病弱教育部との連携

- 病弱教育部 通級指導教室
 - 不登校児童生徒の相談ケースで、保護者・学校相談から医療につながり、通級指導へと連携
- 病弱教育部 小学部・中学部
 - 不登校中学生の相談ケースから本人が転入を決意

社会性や対人関係に課題があり、将来不登校に陥る可能性があると思われるケースが多く、未然防止の視点を持った相談活動の大切さを実感しています。不適応・不登校に至るまでに、地域の小・中・高校や関係諸機関と連携を進めていきたいと考えています。

山城地域を中心に
府内全域

不登校・不適応にかかわる相談を中心に行っています。

研修支援

今年度も「特別支援教育研修会」、「不登校支援研修会」を開催するとともに、城陽市・宇治市・宇治田原町の小学校での校内研修会、宇治市・木津川市の特別支援教育研修会で協力させていただきました。



平成25年度 特別支援教育研修会

- テーマ 「作業療法の視点から見る『読み・書きの苦手さ』(発達障害)への支援」
- 講師 松島 佳苗 氏(作業療法士 「サポートJOYO」巡回相談員)

平成25年度 不登校支援研修会

- テーマ 『不登校中学生の支援の実際』～通級指導教室の取組を通して～
- 講師 有賀 やよい 氏(本校精神科校医 「サポートJOYO」巡回相談員)



平成26年度 特別支援教育研修会は、7月25日(金)開催予定です。

講師 後野文雄 氏 (京都府総合教育センター人材育成室チーフアドバイザー、元舞鶴市白糸中学校長)

生徒指導も特別支援教育も一人一人の児童生徒理解の深化が指導の基盤となるという視点に基づき、全ての教職員が全校体制で取り組む実践をされてきました。発達の視点でみる対応と生徒指導についてお話いただく予定です。